

第7回 桜美林「大学シュンポシオン」
中国の教育政策と高等教育
— 「国家中長期教育改革と発展計画（2010-2020）」の解説—
2011年10月22日（土）16:00～18:00
桜美林大学四谷キャンパス（Y308）

主催:桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科

開催趣旨

昨年6月、中国共産党中央政治局会議で、『国家中長期教育改革と発展計画綱要（2010-2020）』が採択された。この綱要で中国は、引き続き教育を最優先の地位に置き、教育の改革と資金投入を拡大し、2020年までに人的資源の強国になることを目指すとし、「2020年までに、中国は教育の近代化を基本的にも実現し、学習型の社会を築き上げ、人的資源の強国になる」とした上で、「高校教育を国民の90%まで普及させ、大学の入学率を40%に引き上げ、2億人の国民が大学教育を受ける」という目標を示したとされる。また、その作成課程では、社会各界からの意見をまとめて編修しており、温家宝首相自身がこの要綱の起草と修正に参加しているとのことである。（CRI online、2010-07-30、<http://japanese.cri.cn/881/2010/07/30/181s161713.htm>）

本会では、この注目すべき要綱について、この途のエキスパートであられる李東翔先生の読み解きをもとに、その意義の理解と日本へのインプリケーションについて、シュンポシオンにふさわしい議論を展開する。

講演者

李 東翔 桜美林大学大学院客員教授



1945年生

1970年吉林大学日本語日本文学専攻卒

元中国駐日本大使館公使参事官

中国教育部元国際合作交流局長

北京大学日本研究センター兼任教授

吉林大学兼任教授

国家漢弁・孔子学院本部顧問

近年の論文・著書に、

『日本における科学技術と教育の発展』国家第十五年計画指定重点出版物 2003年
人民教育出版社、共著

「中国における高等教育の発展と中日教育交流の現状」（『国際日本学』2007, no.4）

他に、中日の関係新聞や雑誌において文章を多数発表

コーディネーター

館 昭 桜美林大学 大学アドミニストレーション研究科長

定 員：30名 /参加費無料

申込み:

下記の要領で、お申し込み下さい。

申込先：e-Mailにて桜美林大学四谷キャンパス「g-schl-s@obirin.ac.jp」宛

メールの件名を“大学シュンポシオン申込”として、本文に以下の事項をご入力ください。

- (1) 氏名 (2) 所属（勤務先） (3) 部署
- (4) 役職名 (5) 連絡先（郵便番号・住所） (6) メールアドレス

ここで収集された個人情報には本シンポジウムのために使用され、それ以外の目的では使用致しません。

締め切り：2011年10月19日（水）

（定員を超える場合は、その時点で打ち切りとさせていただきます。）

講演概要

国家中長期教育改革・発展計画綱要

(2010-2020) 解説

—人口資源大国から人口資源強国へ—

一、「綱要」内容の概略について

- 1、指導思想
- 2、活動方針
- 3、発展目標

二、教育開放の拡大について〔第十六章の解説〕

- 1、教育国際交流と協力を強化する
- 2、世界における優れた教育資源を取り入れる
- 3、教育国際交流と協力のレベルを向上させる

三、中日教育交流を強め、互惠協力関係を促進する

- 1、教育交流の質とレベルの向上
- 2、教育交流の多様化を促進する
- 3、公共的知性を備えた留学生の共同育成

調和の取れた国際社会の構築のために国際的な貢献をする

会場案内図

